



AWS Backup で実現する VMware Cloud on AWS 環境の 簡易的なバックアップと災害対策

AWS Black Belt Online Seminar

武田 紘一 (TAKEDA KOICHI)

VMware Cloud on AWS 事業本部
スペシャリストソリューションアーキテクト
2023/02

AWS Black Belt Online Seminarとは

- 「サービス別」「ソリューション別」「業種別」などのテーマに分け、アマゾン ウェブ サービス ジャパン合同会社が提供するオンラインセミナーシリーズです
- AWSの技術担当者が、AWSの各サービスやソリューションについてテーマごとに動画を公開します
- 動画を一時停止・スキップすることで、興味がある分野・項目だけの聴講も可能、スキマ時間の学習にもお役立ていただけます
- 以下のURLより、過去のセミナー含めた資料などをダウンロードすることができます
 - <https://aws.amazon.com/jp/aws-jp-introduction/aws-jp-webinar-service-cut/>
 - <https://www.youtube.com/playlist?list=PLzWGOASvSx6FIwIC2X1nObr1KcMCBBBlqY>

内容についての注意点

- 本資料では 2023 年 2 月時点のサービス内容および価格についてご説明しています。最新の情報は AWS 公式ウェブサイト(<https://aws.amazon.com/>)にてご確認ください
- 資料作成には十分注意しておりますが、資料内の価格と AWS 公式ウェブサイト記載の価格に相違があった場合、AWS 公式ウェブサイトの価格を優先とさせていただきます
- 価格は税抜表記となっております。日本居住者のお客様には別途消費税をご請求させていただきます

自己紹介

名前：武田 紘一 (TAKEDA KOICHI)

所属：アマゾンウェブサービスジャパン合同会社
VMware Cloud on AWS 事業本部
スペシャリストソリューションアーキテクト



経歴：通信会社で VMware ベースのクラウドサービス企画開発・構築運用、消費財メーカーの生産工場で IT インフラ更改などを経験

好きな AWS サービス：

- VMware Cloud on AWS
- AWS Backup

本セミナーの対象者

基本的な AWS サービスについて理解されている方

VMware Cloud on AWS の概要を理解されている方

VMware Cloud on AWS をご利用予定の方

AWS Backup を活用した VMware Cloud on AWS 環境の
バックアップ、災害対策にご興味のある方

※ VMware Cloud on AWS の概要やネイティブ AWS サービスとの連携については、
[「AWS Black Belt Online Seminar」 VMware Cloud on AWS](#)
[「AWS Black Belt Online Seminar」 VMware Cloud on AWS の可用性について](#)
[「AWS Black Belt Online Seminar」 VMware Cloud on AWS とネイティブ AWS サービスの連携](#)
なども合わせてご参照ください。

アジェンダ

1. VMware Cloud on AWS について
2. AWS Backup で実現できること
3. AWS Backup 利用イメージ
4. VMware Cloud on AWS 環境で AWS Backup を利用するための初期セットアップ
5. [デモ] AWS Backup で実現する VMware Cloud on AWS 環境の簡易的なバックアップと災害対策

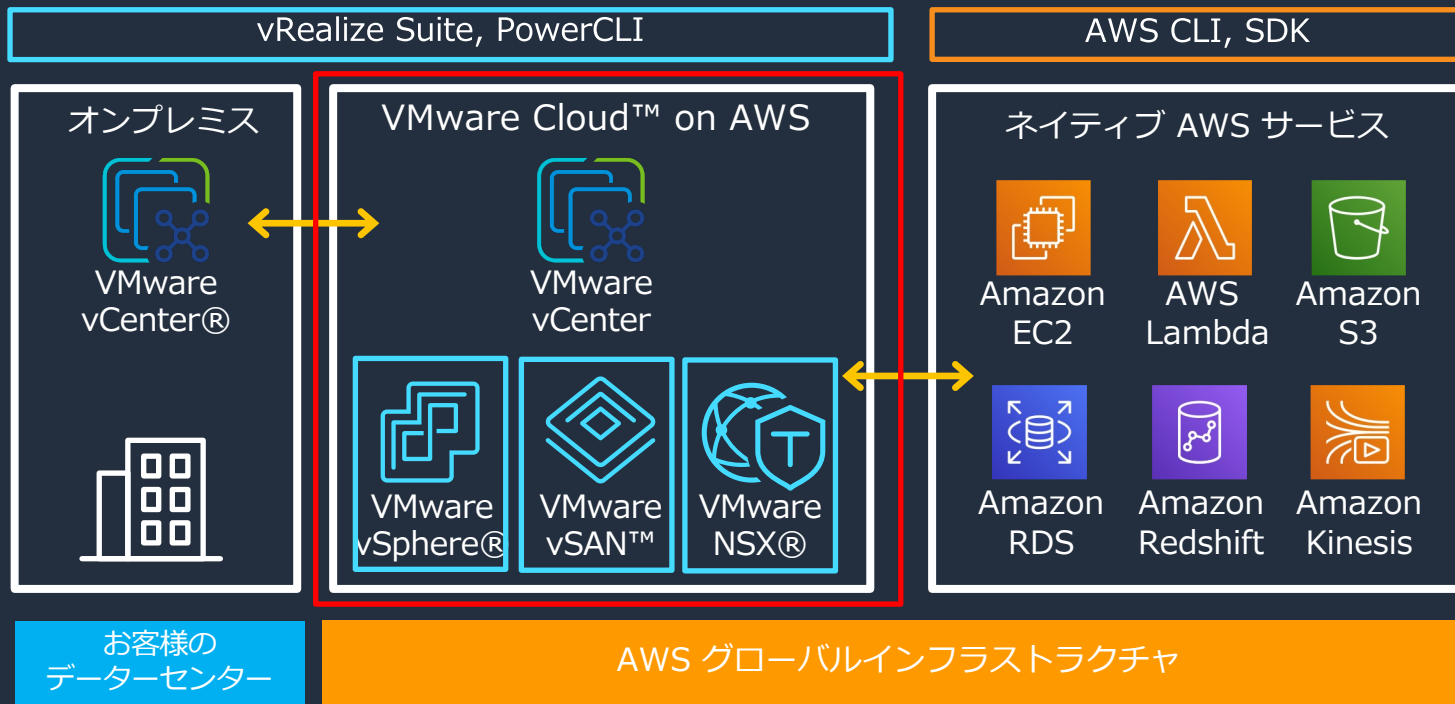
VMware Cloud on AWS について



VMware Cloud on AWS とは



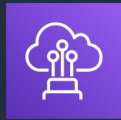
Amazon EC2 ベアメタルインスタンスで実行される
お客様専用の VMware Software-Defined Data Center (SDDC)



- VMware SDDC を AWS 上のクラウドサービスとして提供
- VMware による運用、サポート
- オンプレミスの VMware vSphere 環境との運用一貫性
- シームレスなワークロードの移植性とハイブリッド運用
- ネイティブ AWS のサービスへの直接アクセス

ネイティブ AWS サービス との連携

お客様は VMware Cloud on AWS と多様なネイティブ AWS サービスを連携可能



AWS Direct
Connect



AWS Elastic
Beanstalk



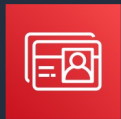
Amazon Elastic
File System (EFS)



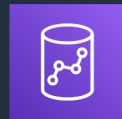
Amazon
Route 53



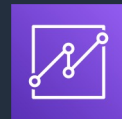
Amazon Simple
Storage Service (S3)



AWS Directory
Service



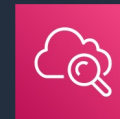
Amazon
Redshift



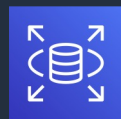
Amazon
QuickSight



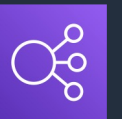
Amazon FSx
for NetApp ONTAP



Amazon
CloudWatch



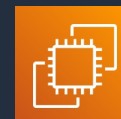
Amazon Relational
Database Service
(RDS)



Amazon Elastic
Load Balancing
(ELB)



AWS Backup



Amazon EC2



Amazon Elastic Block
Store (EBS)

AWS Backup で実現できること



AWS Backup とは



AWS Backup

AWS の各サービスのバックアップの実行とバックアップデータの一元的な管理を提供

集中型の管理



「バックアッププラン」、
「バックアップルール」、
「Backup Vault」を定義

バックアップの自動化



• 「バックアップスケジュール」
を定義
• CloudTrail や SNS と連携

コンプライアンス



• IAM でアクセス権限を管理
• 複数のコンプライアンス標準
に準拠 (PCI-DSS 含む)

クラウドネイティブなバックアップと AWS Storage Gateway
を統合したハイブリッドなバックアップを提供

ポリシーベースおよびタグベースのバックアップ

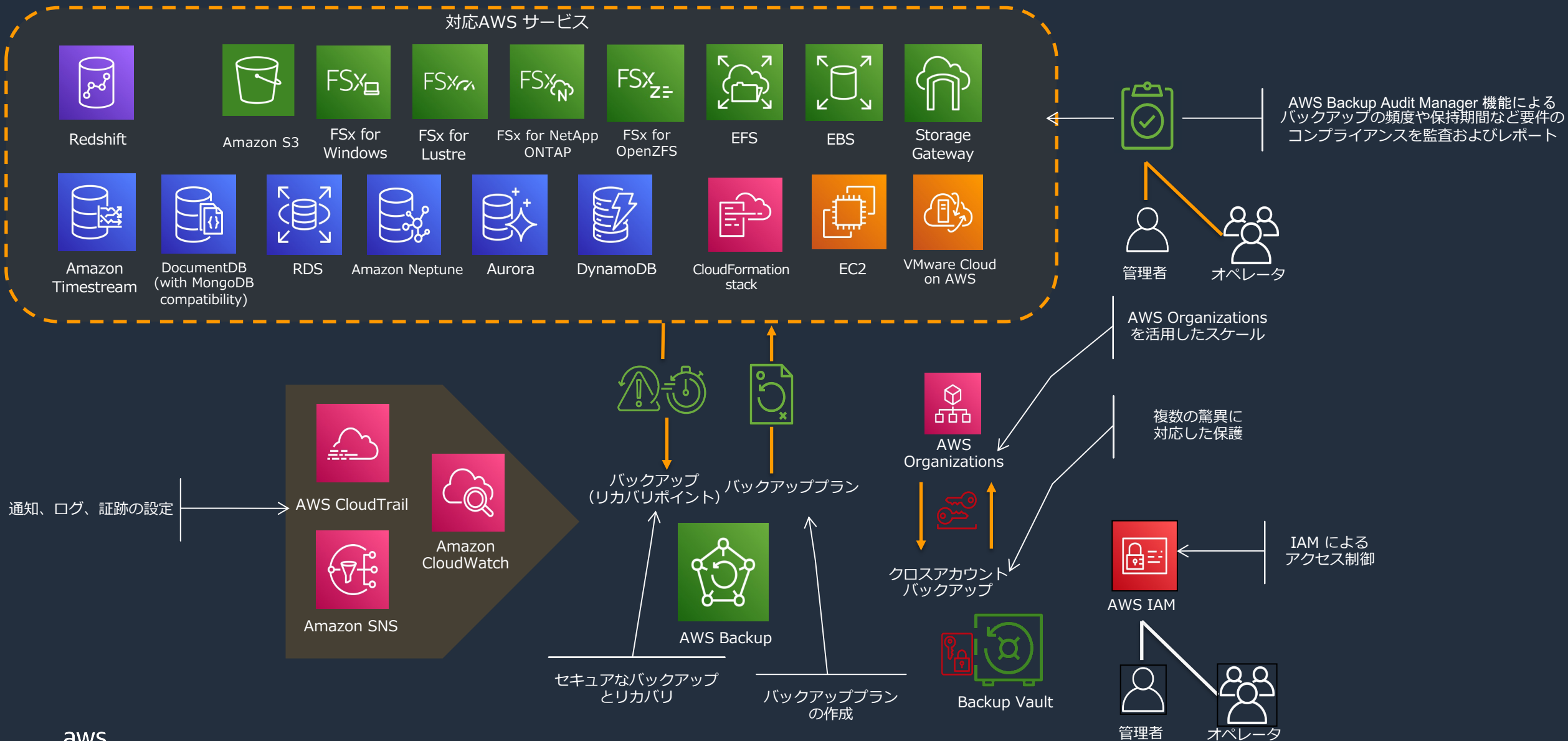
自動化されたバックアップスケジューリング

バックアップの暗号化

クロスアカウント、クロスリージョンのバックアップ

自動バックアップリテンション管理

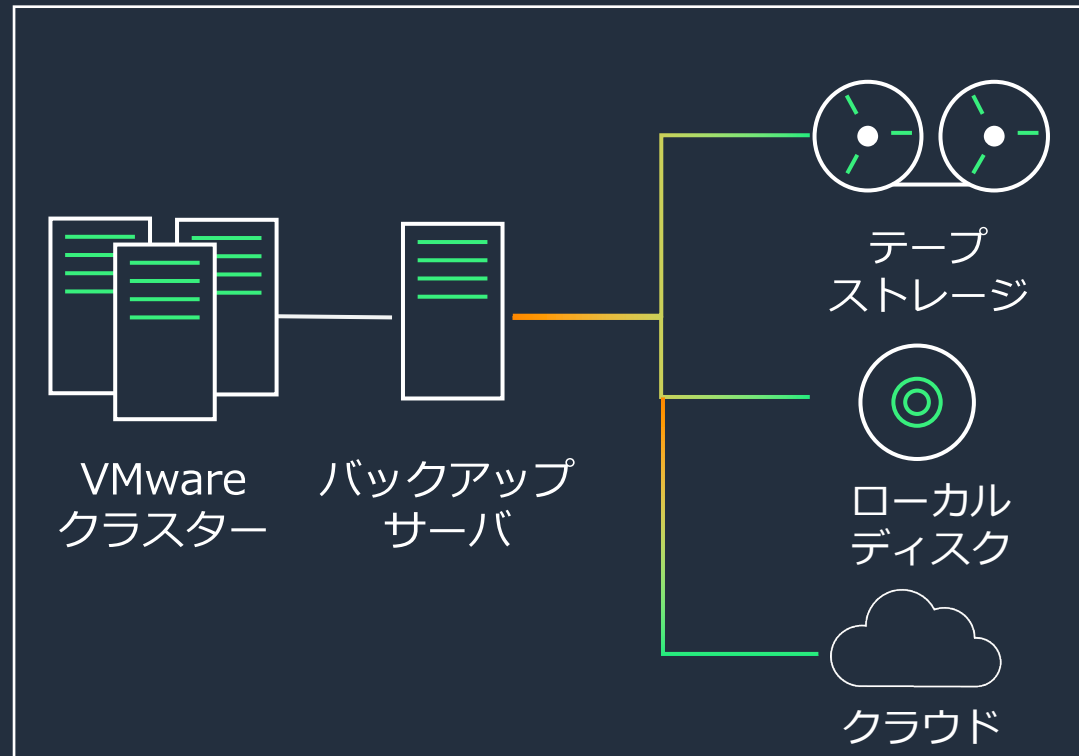
AWS Backup 全体像



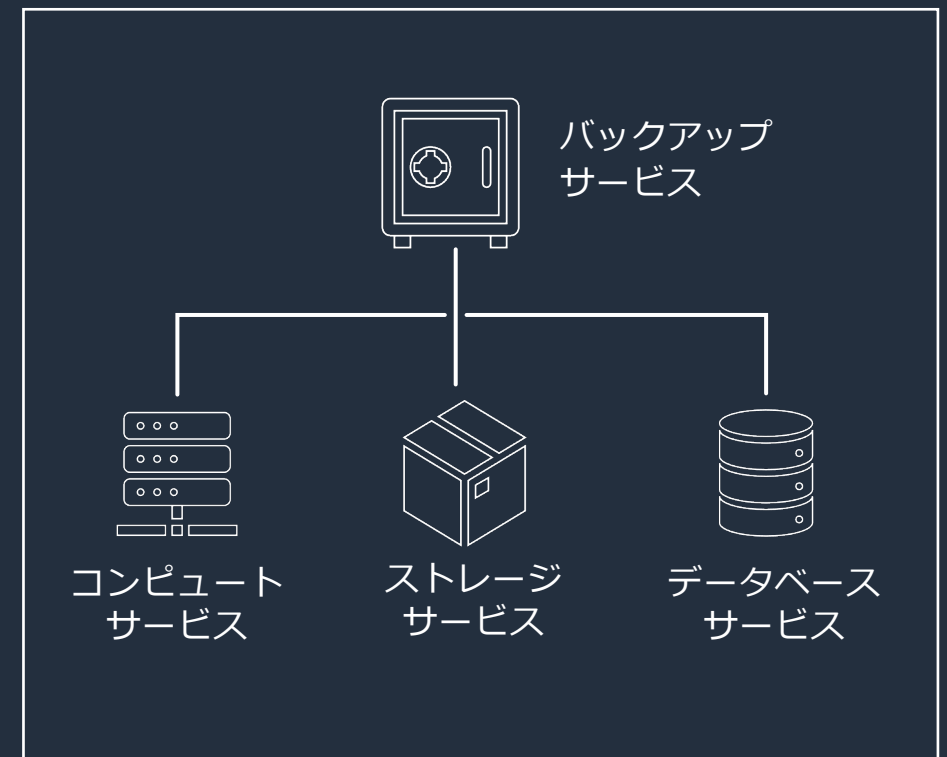
ハイブリッド VMware ワークロード保護の課題

今まではオンプレミスとクラウドのバックアップ環境が別々になってしまっていた

オンプレミスで稼働するワークロード



クラウドで実行されるワークロード



AWS Backup の VMware 仮想環境への対応

2021 年 11 月から AWS Backup が VMware 仮想環境をサポート開始 ※1



※1 VMware ESXi 6.7 / 7.0 / 8.0 をサポート

AWS Backup Supported VMs:

<https://docs.aws.amazon.com/aws-backup/latest/devguide/vm-backups.html#supported-vm>

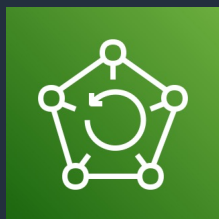
オンプレミス
VMware 仮想環境



(New!) 2022 年 11 月アップデート:
[AWS Backup が Amazon EC2 への VMware ワークロードの復元をサポート開始](#)

クラウドとオンプレミスの一元的なバックアップ運用

ネイティブ AWS サービスに加えて、クラウドおよびオンプレミスの VMware 仮想環境に対応



ハイブリッド VMware
ワークロード向けの一元的な
データ保護ソリューション



柔軟なリストアオプション：
オンプレミスと
VMware Cloud on AWS

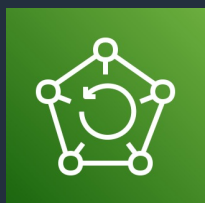


AWS ネイティブのサービスと
VMware ワークロードで同じ
バックアップポリシーを使用可能

AWS Backup 利用イメージ



AWS Backup の利用手順



AWS Backup

1



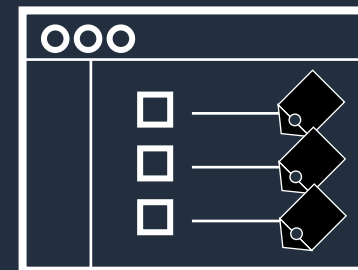
VM を自動的に検出する
Backup Gateway の
ダウンロードとデプロイ

2



組織のデータ保護ポリシーに
基づいてバックアッププラン
を定義

3



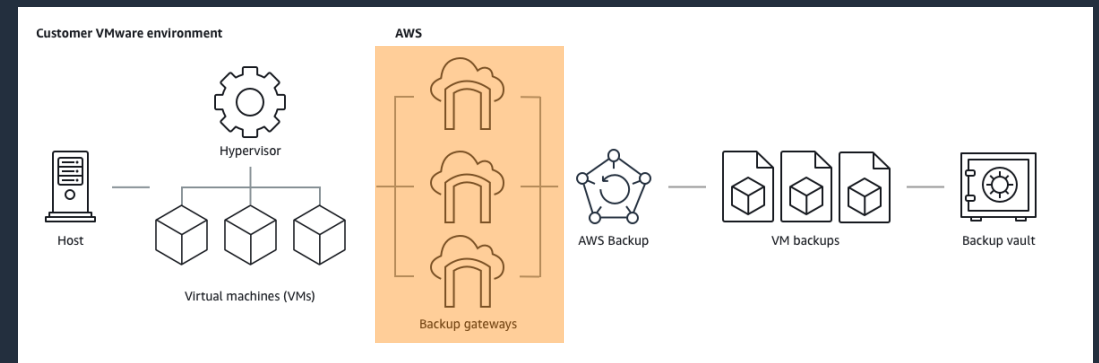
バックアップを管理し、
ポリシーのコンプライアンスを維持

Backup Gateway

- AWS マネジメントコンソールから OVA (Open Virtual Appliance) ファイルをダウンロードし、VMware 仮想環境上に仮想アプライアンス (VM) としてデプロイ

- Backup Gateway の必要スペック

- 4 vCPU
- 8 GB メモリ

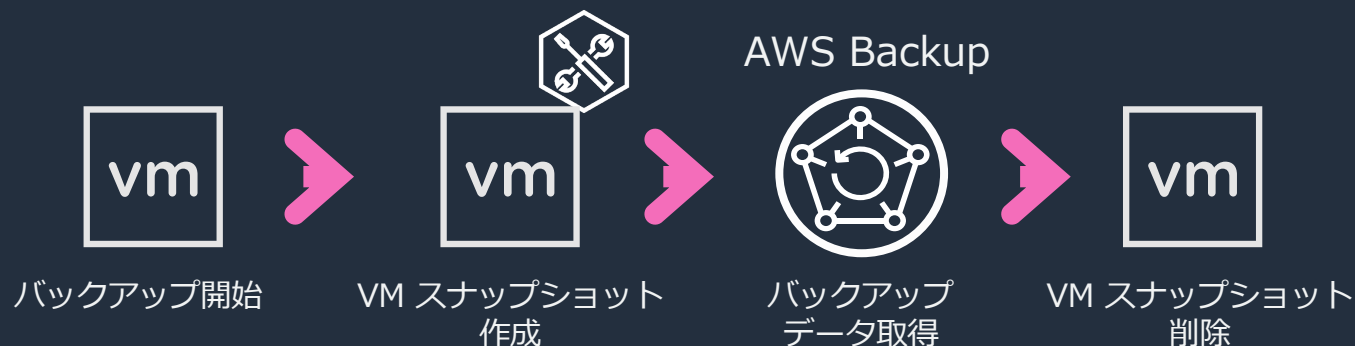
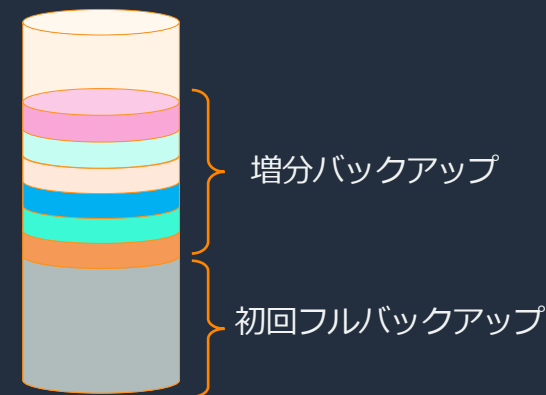


- NFS、VMFS、VSAN 上で稼働する VMware ESXi 6.7 / 7.0 の VM をバックアップ
- iSCSI Hot-Add または NBD トランスポートモードによるバックアップをサポート
- 1 つの Backup Gateway で一度に最大 4 つのバックアップまたは復元ジョブを実行可能
- 複数の Backup Gateway をデプロイして並列処理が可能 (*)

* Backup Gateway の使用:
https://docs.aws.amazon.com/ja_jp/aws-backup/latest/devguide/working-with-gateways.html

VMware バックアップ

- 初回はフルバックアップ、2 回目以降は**永久増分**としてバックアップされる
- 現時点では設定可能なバックアップの頻度は最短 1 時間
- バックアップ時の動作は以下のとおり
 1. VM スナップショットを作成 (VMware Tools 連携)
 2. AWS Backup でバックアップを取得
 3. VM スナップショットを削除



仮想マシンのバックアップの作成:
https://docs.aws.amazon.com/ja_jp/aws-backup/latest/devguide/vm-backups.html

アプリケーション整合性

VMware 仮想環境のバックアップでは、デフォルトで VMware Tools を使用したアプリケーション・コンシステントでのバックアップを取得

- アプリケーションが VMware Tools に対応していれば、バックアップは **アプリケーション・コンシステント**となる
- アプリケーションが VMware Tools に対応していなければ、バックアップは **クラッシュ・コンシステント**となる

アプリケーション・コンシステント	アプリケーションの整合性が保たれた状態
クラッシュ・コンシステント	バックアップ時にディスクに存在していたデータをバックアップ（一般的に OS および DHCP サーバーやプリントサーバーなどの復旧には十分な整合性）

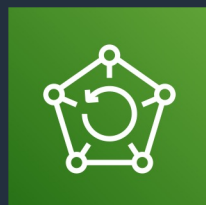
バックアップから VMware 仮想環境へのリストア

- リストアでは**新規 VM** としてリストアされる
 - 元の VM を削除したり上書きしたりはしない
- リストアされた VM は**電源オフ状態**でリストアされる
 - 元の VM が稼働していた場合、IP アドレスが重複する可能性があるため
 - 元の VM とは別の MAC アドレスを持つ
- リストア先を**柔軟に選択可能** (*)
 - オンプレミスで取得したバックアップを VMware Cloud on AWS にリストア
 - VMware Cloud on AWS で取得したバックアップをオンプレミスにリストア
 - Amazon EC2 へのリストア

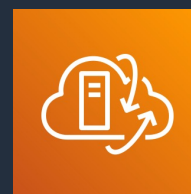
オンプレミス



AWS Backup



VMware Cloud on AWS



* 仮想マシンの復元:

https://docs.aws.amazon.com/ja_jp/aws-backup/latest/devguide/restoring-vm.html

AWS Backup の料金イメージ

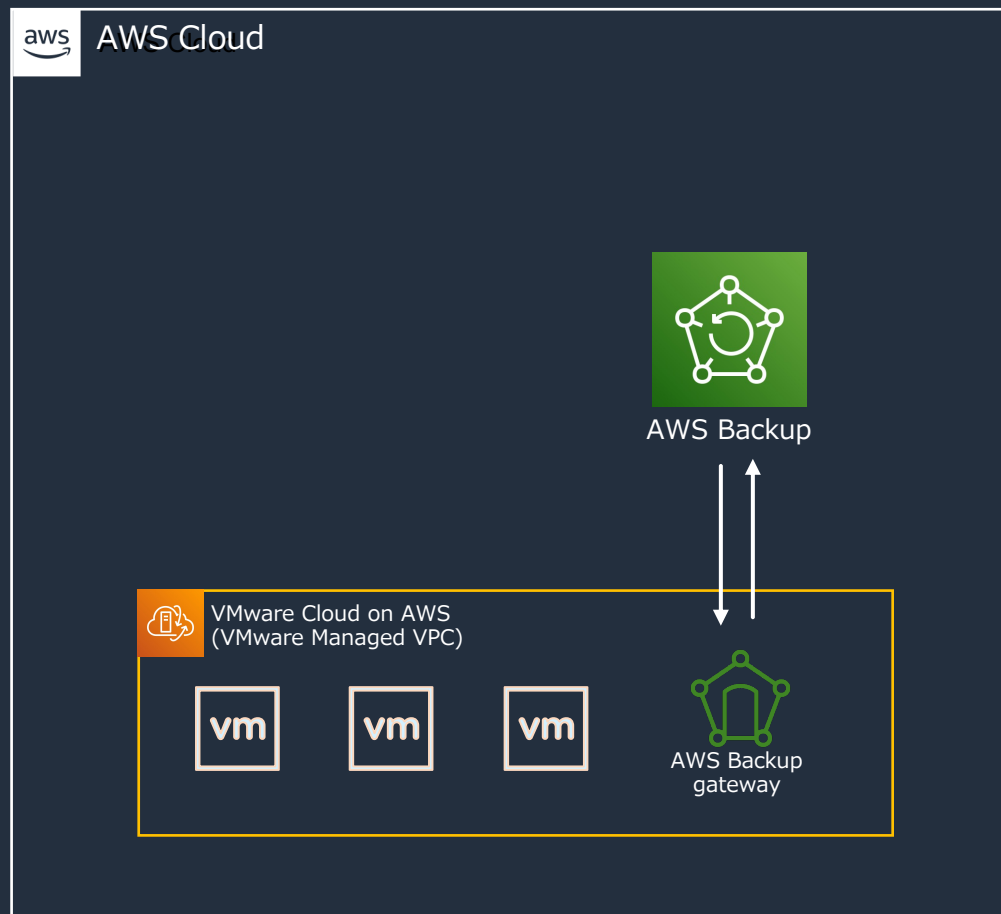
使用した分にだけ課金、ソフトウェアライセンス費用などの初期費用は不要

1	使用済みストレージ容量 (\$/GB/月) <ul style="list-style-type: none">・ ウォームストレージ・ コールドストレージ
2	リストアされたデータ (\$/GB) <ul style="list-style-type: none">・ ウォームストレージ・ コールドストレージ
3	転送されたデータ (\$/GB) <ul style="list-style-type: none">・ クロスリージョンコピー・ データ転送アウト
4	(オプション) AWS Backup Audit Manager によるコンプライアンス評価 <ul style="list-style-type: none">・ バックアップ評価 (1,000 件ごと)・ 設定項目
5	(オプション) AWS PrivateLink によるプライベート接続 <ul style="list-style-type: none">・ VPC エンドポイント (1 つごと)・ 処理データ (\$/GB)

AWS Backup 料金:
<https://aws.amazon.com/jp/backup/pricing/>

VMware Cloud on AWS 環境で AWS Backup を利用するための 初期セットアップ

AWS Backup の初期セットアップ

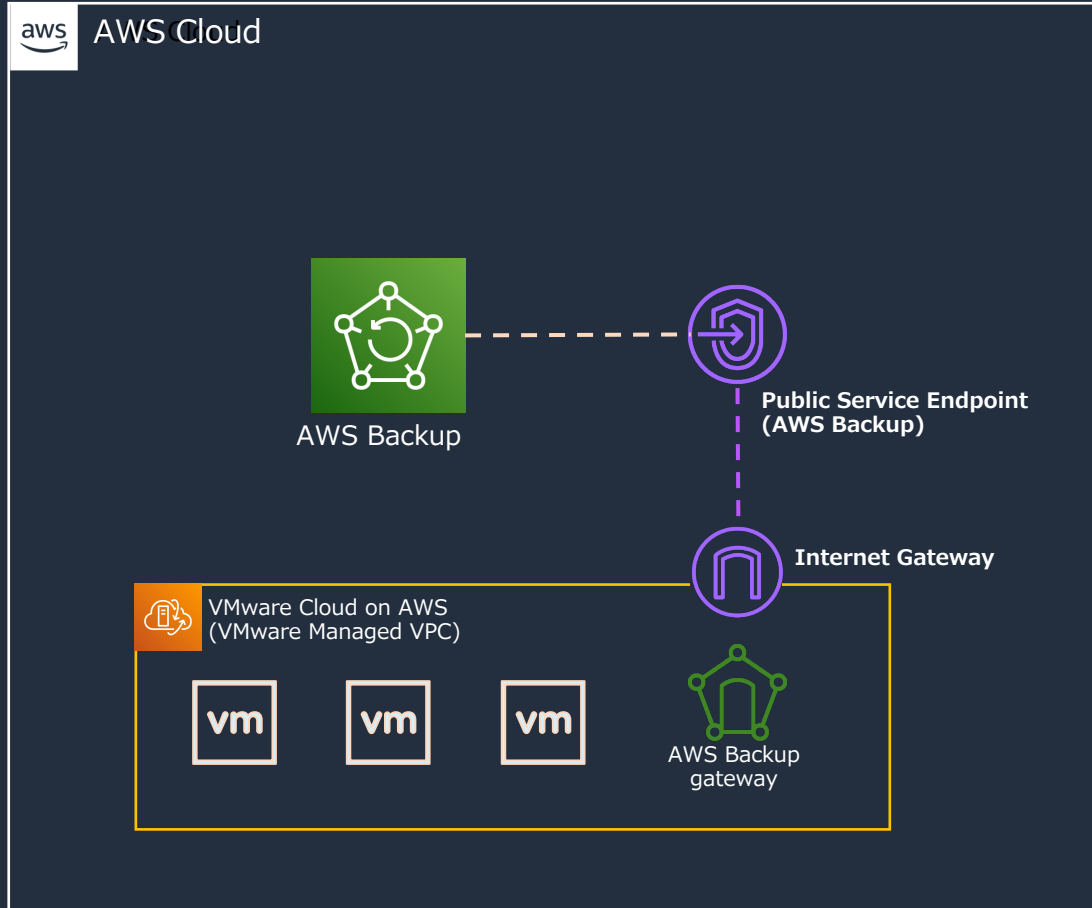


1. Backup Gateway アプライアンス (OVA ファイル) を AWS マネジメントコンソールからダウンロード
2. vSphere Client で VMware vCenter にログインし、AWS Backup Gateway アプライアンスを対象の VMware 仮想環境にデプロイ
3. AWS マネジメントコンソール から AWS Backup Gateway アプライアンスに通信(*)して、アクティベーションを実施 (VMware vCenter のログイン情報を登録)

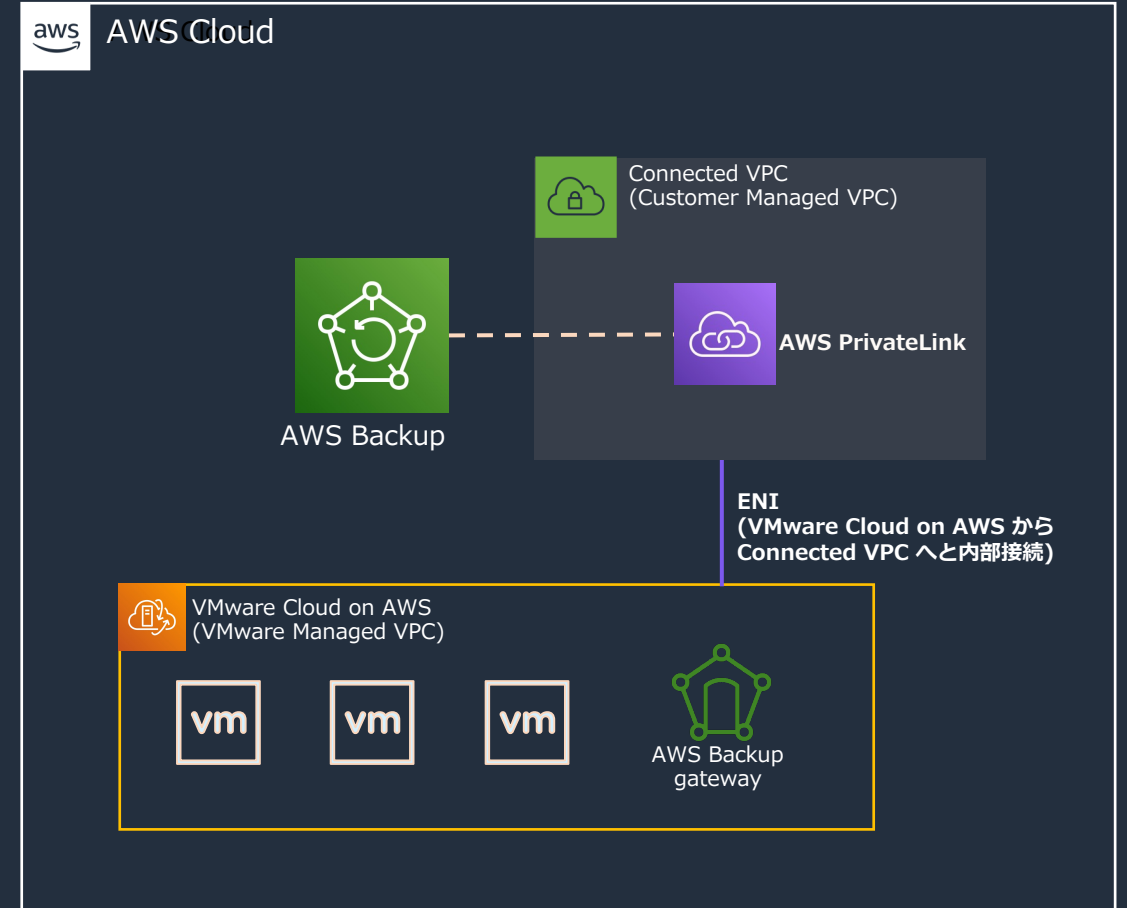
(*) 通信に必要なポートは次のドキュメントを参照

https://docs.aws.amazon.com/ja_jp/aws-backup/latest/devguide/configure-infrastructure-bgw.html

Backup Gateway のネットワーク接続



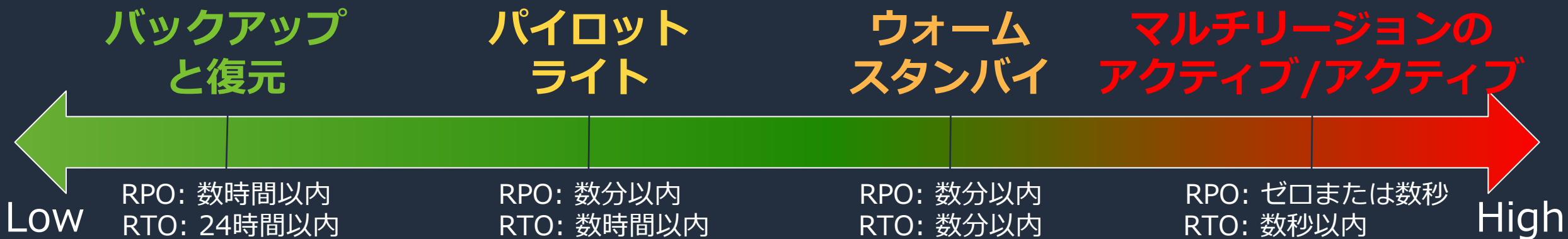
Internet Gateway 経由で通信する場合



AWS PrivateLink 経由で通信する場合

[デモ] AWS Backup で実現する VMware Cloud on AWS 環境の 簡易的なバックアップと災害対策

AWS における DR の主なシナリオ (VMware Cloud on AWS)



- データとアプリケーションのバックアップ

■ 費用：\$

- 低い RTO と RPO 要件を満たす
- 重要なコア要素の実行環境
- DR イベントに対する AWS リソースのスケール

■ 費用：\$\$

- 数分で RTO と RPO を必要とするソリューション
- ビジネスクリティカルなサービス

■ 費用：\$\$\$

- 自動フェールオーバー

■ 費用：\$\$\$\$

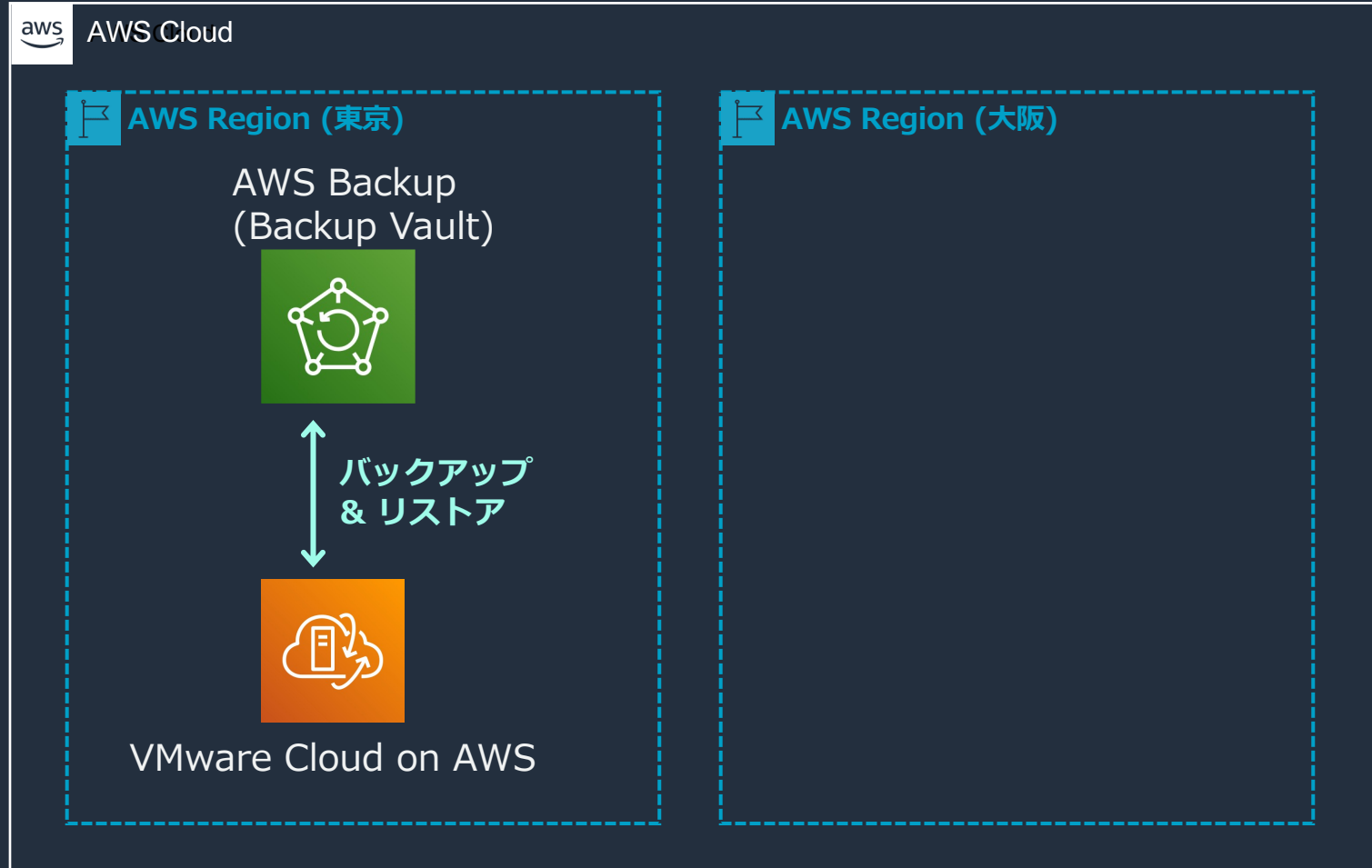
**今回のシナリオ
AWS Backup を活用**

・ VMware Cloud Disaster Recovery
・ VMware Site Recovery

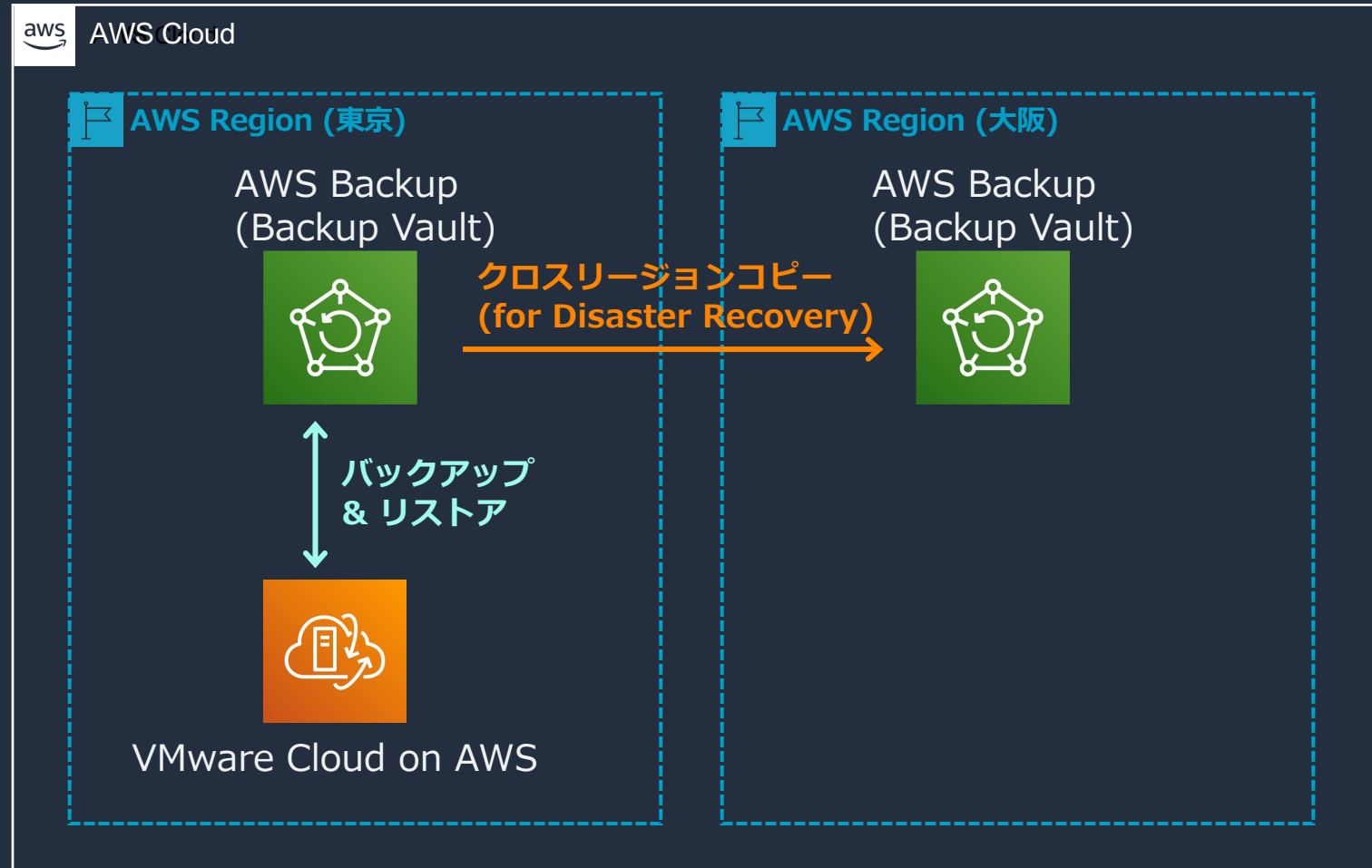
上図はあくまで参考例。お客様の要件や環境によっては、実現するソリューションの組み合わせや費用の想定が異なる場合がある。
VMware Cloud on AWS における可用性については [「AWS Black Belt Online Seminar」 VMware Cloud on AWS の可用性について](#) も参考とする。



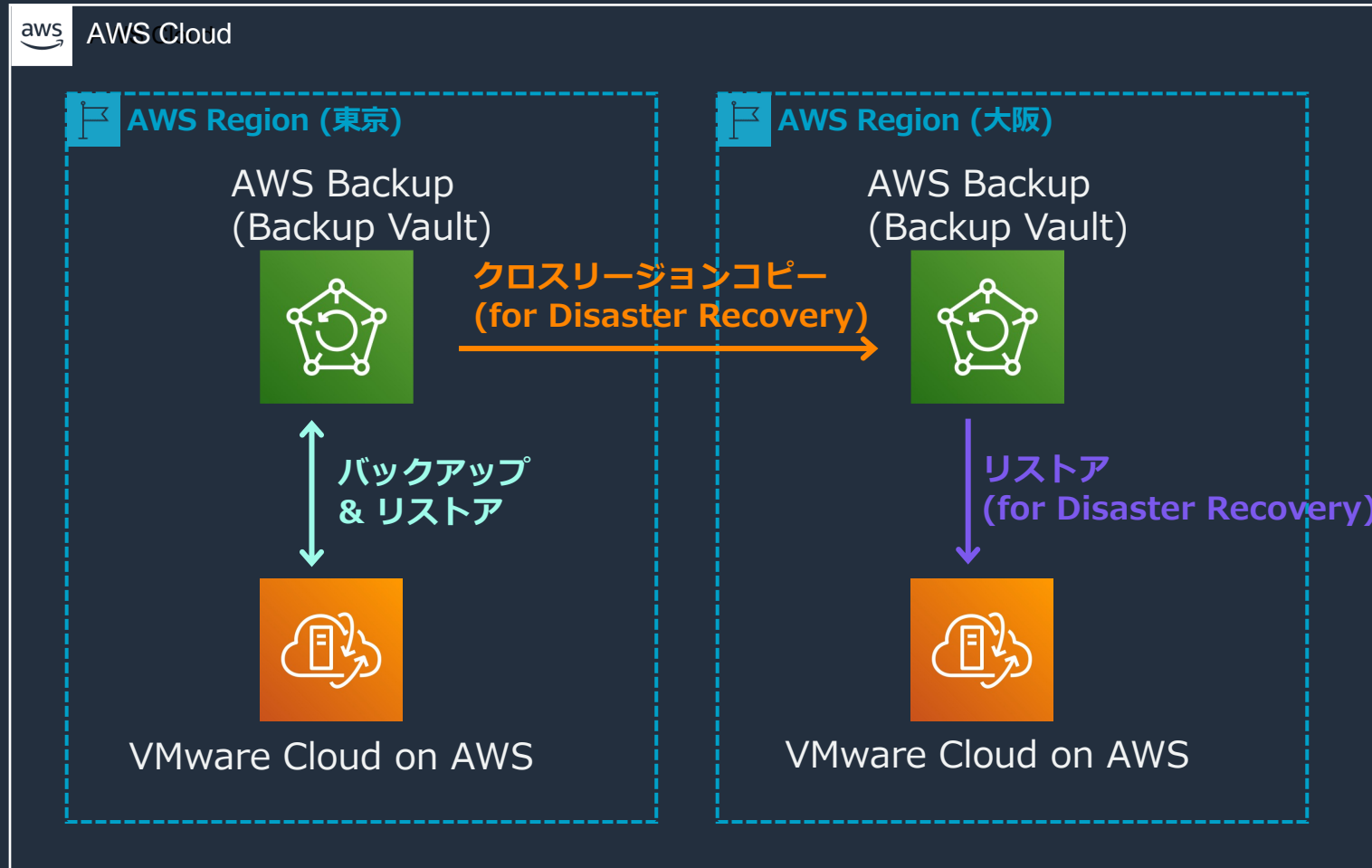
シンプルで簡易的なバックアップ & リストア、および DR 対策



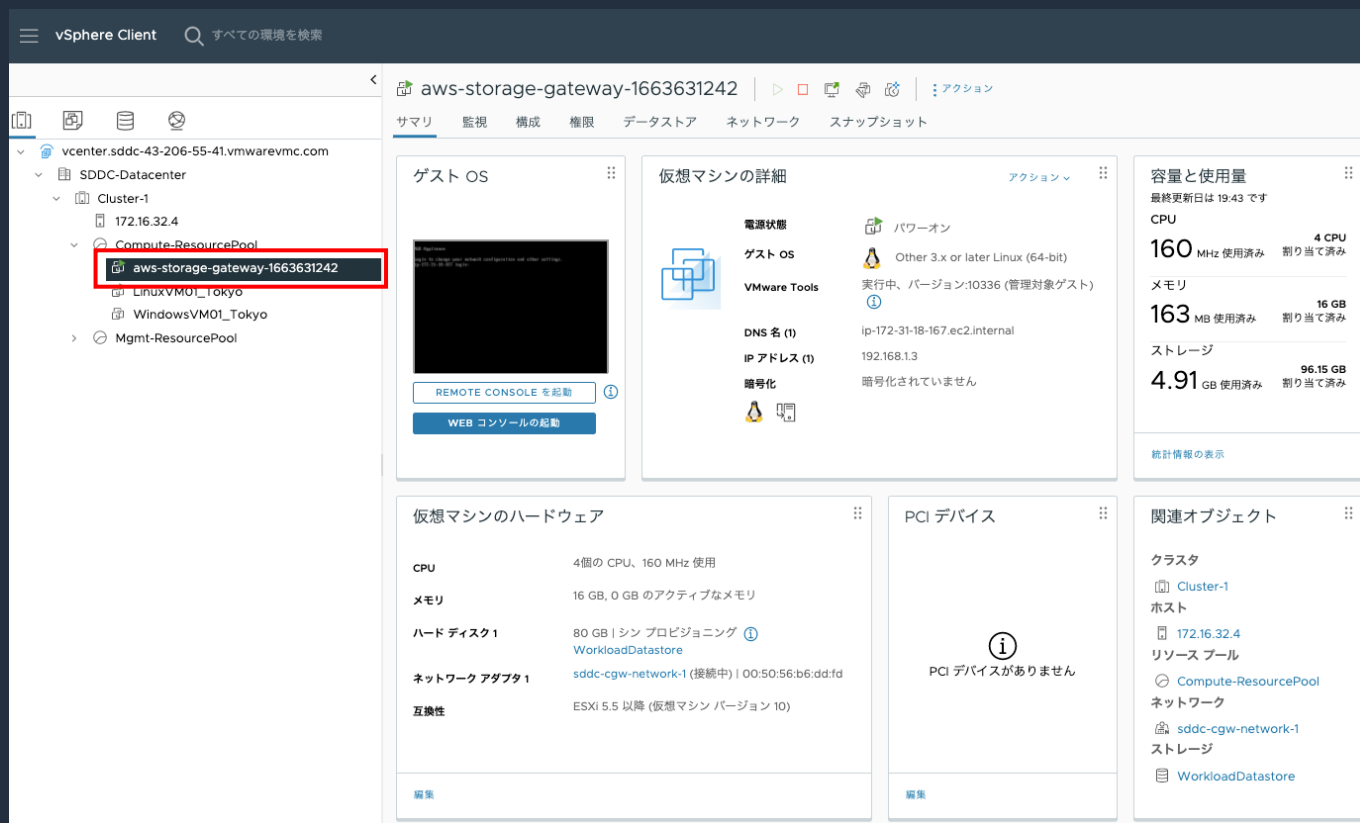
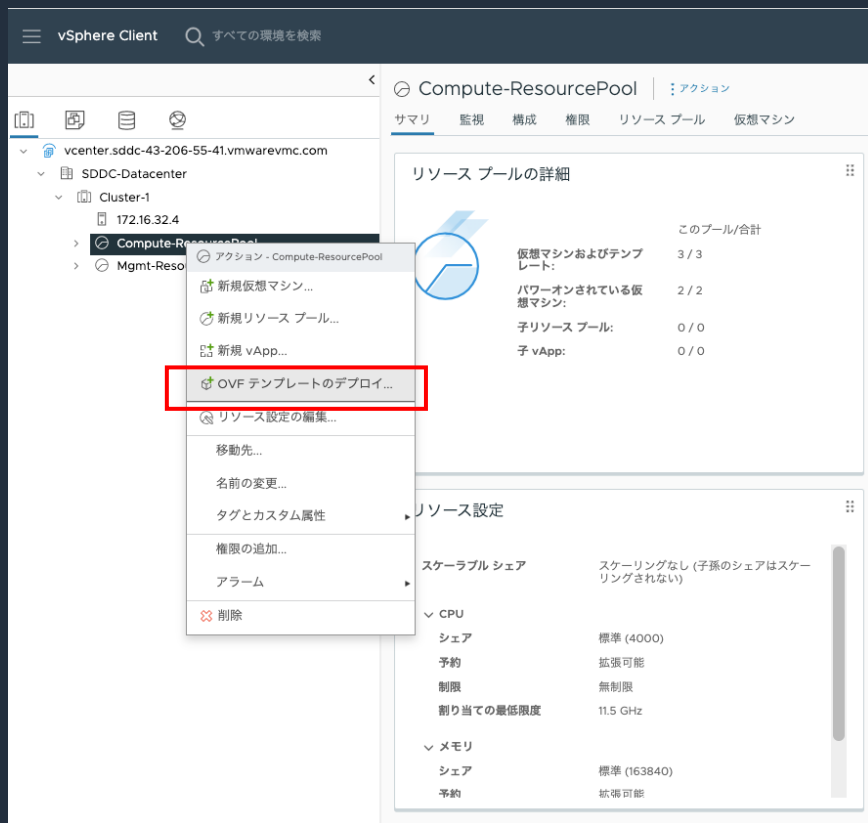
シンプルで簡易的なバックアップ & リストア、および DR 対策



シンプルで簡易的なバックアップ & リストア、および DR 対策



Backup Gateway アプライアンスのデプロイ (vSphere Client)



バックアッププランの作成 (AWS マネジメントコンソール)

バックアップルール設定 情報

バックアップルール名
BackupRule_VMC_Tokyo
バックアップルール名では大文字と小文字が区別されます。1~50文字の英数字または「_」を含める必要があります。

バックアップポールド 情報
AWSBackup_VMCOnAWS_Tokyo 新しいバックアップポールドを作成

バックアップ頻度 情報
毎日

ポイントインタイムリカバリ (PITR) のために継続的なバックアップを有効化 情報
継続的なバックアップでは、選択した特定の時刻 (1 秒単位で指定でき、最大 35 日前まで) に巻き戻すことによって、AWS Backup でサポートされているリソースを復元できます。RDS、および S3 リソースで使用できます。

バックアップウィンドウ
 バックアップウィンドウのデフォルトを使用 - おすすめ 情報
午前 5 時 (UTC)、8 時間以内に開始します。
 バックアップウィンドウをカスタマイズ

コールドストレージへの移行 情報
しない

保持期間 情報
常時

コピー先にコピー 情報
アジアパシフィック (大阪) 削除

別のアカウントのポールドにコピー
送信先バックアップポールド
バックアップコピーが作成されるポールド。
AWSBackup_VMC_Osaka 新しいバックアップポールドを作成

[詳細設定](#)

毎時

12 時間ごと

毎日

毎週

毎月

カスタム cron 式

コピー先にコピー 情報

アジアパシフィック (大阪) ▲

Q |

アジアパシフィック (東京)
ap-northeast-1

アジアパシフィック (ソウル)
ap-northeast-2

アジアパシフィック (大阪)
ap-northeast-3

アジアパシフィック (ムンバイ)
ap-south-1

アジアパシフィック (シンガポール)
ap-southeast-1

アジアパシフィック (シドニー)
ap-southeast-2

カナダ (中部)
ca-central-1

欧州 (フランクフルト)

バックアッププランの作成 (AWS マネジメントコンソール)

The screenshot displays the AWS Backup console configuration for a backup rule named 'BackupRule_VMC_Tokyo'. The left sidebar shows the navigation menu with 'Backup Plans' selected. The main content area shows the rule's details under the 'Summary' section. The 'Frequency' is set to 'Daily' at 05:00 AM UTC. The 'Destination Region' is set to 'Asia Pacific (Osaka)'. The 'Send to Backup Report' checkbox is checked.

AWS Backup ×

AWS Backup > バックアッププラン > BackupPlan_VMC_Tokyo > BackupRule_VMC_Tokyo

BackupRule_VMC_Tokyo

概要

バックアップルール名
BackupRule_VMC_Tokyo

頻度
毎日
次において実施05:00 AM UTC

次の時間以内に開始
8 時間

次の時間以内に完了
7 日

ライフサイクル

コールドストレージに移行しない

有効期限切れなし

バックアップレポート
[AWSBackup_VMConAWS_Tokyo](#)

復旧ポイントに追加されたタグ - オプション
-

設定をコピー

送信先リージョン	送信先バックアップレポート
アジアパシフィック (大阪)	AWSBackup_VMC_Osaka

バックアップの取得時 (vSphere Client)

The screenshot shows the vSphere Client interface for a VM named 'LinuxVM01_Tokyo'. The VM is powered on and running. The interface displays the following information:

- 電源状態:** パワーオン
- ゲスト OS:** Other 5.x or later Linux (32-bit)
- VMware Tools:** 実行中、バージョン:11333 (管理対象ゲスト)
- DNS 名 (1):** box
- IP アドレス (1):** 192.168.1.2
- 暗号化:** 暗号化されていません

Resource usage summary:

- 容量と使用量:** 最終更新日は 19:51 です
- CPU:** 0 MHz 使用済み (1 CPU 割り当て済み)
- メモリ:** 10 MB 使用済み (256 MB 割り当て済み)
- ストレージ:** 400 MB 使用済み (656 MB 割り当て済み)

vSphere Client | 全ての環境を検索 | cloudadmin@vmc.local

タスク コンソール

新しいタブで開く

タスク名	ターゲット	ステータス	詳細	開始者	待ち時間	開始時刻	完了時刻	実行時間	サーバ
スナップショットの削除	LinuxVM01_Tokyo	完了		cloudadmin@vmc.local	3 ミリ秒	2022/10/04 19:47:50	2022/10/04 19:47:51	525 ミリ秒	vcenter.sddc-43-206-5...
仮想マシンの再設定	aws-storage-gateway-1663631242	完了		cloudadmin@vmc.local	1 ミリ秒	2022/10/04 19:43:02	2022/10/04 19:43:02	314 ミリ秒	vcenter.sddc-43-206-5...
仮想マシンの再設定	aws-storage-gateway-1663631242	完了		cloudadmin@vmc.local	1 ミリ秒	2022/10/04 19:42:51	2022/10/04 19:42:51	347 ミリ秒	vcenter.sddc-43-206-5...
仮想マシンのスナップショットの作成	LinuxVM01_Tokyo	完了		cloudadmin@vmc.local	4 ミリ秒	2022/10/04 19:38:09	2022/10/04 19:38:14	4 秒	vcenter.sddc-43-206-5...

バックアップ取得の前後で、対象 VM の Snapshot の作成と削除が実行される

バックアップの取得時 (AWS マネジメントコンソール)

The screenshot displays the AWS Backup console interface. On the left, a navigation sidebar includes sections for 'マイアカウント' (My Account), '外部リソース' (External Resources), '自分の組織' (My Organization), and 'Backup Audit Manager'. The main content area is titled 'ジョブ' (Jobs) and contains two tabs: 'バックアップジョブ' (Backup Jobs) and 'コピージョブ' (Copy Jobs). The 'バックアップジョブ' tab is active, showing a table of backup jobs with columns for ID, status, resource ID, resource type, creation time, and start time. The 'コピージョブ' tab is also shown, displaying a table of copy jobs with columns for ID, status, resource ID, resource type, creation time, destination region, and destination backup vault.

バックアップジョブ 情報

定期的なバックアップまたはオンデマンドバックアップの記録。

バックアップジョブの停止 | レポートを作成 | 過去 24 時間 ▼

ジョブ ID、ステータス、リソース ID、またはリソースタイプでバックアップジョブをフィルタリ:

バックアップジョブ ID	ステータス	リソース ID	リソースタイプ	作成時間	開始の基準
A3EABF36-450C-61D4-734C-A3962211C6B1	作成しました	vm/vm-00016ACCD251DC759	VMware virtual machines	2022年10月4日, 17:00 (UTC+09:00)	2022年10月5日, 1:00 (UTC+09:00)
2C87C6DA-136F-714F-A624-333C8FF8459	完了	vm/vm-000174C053D1A42F0	VMware virtual machines	2022年10月4日, 17:00 (UTC+09:00)	2022年10月5日, 1:00 (UTC+09:00)
05EE285D-2F57-36F5-2AFB-121698B746A1	完了	vm/vm-000174C053D1A42F0	VMware virtual machines	2022年10月4日, 16:00 (UTC+09:00)	2022年10月5日, 0:00 (UTC+09:00)
DB0EDC51-822A-8BA0-D5D3-1694F0B83425	実行中	vm/vm-00016ACCD251DC759	VMware virtual machines	2022年10月4日, 16:00 (UTC+09:00)	2022年10月5日, 0:00 (UTC+09:00)
b7feaa2e-154f-48d7-80fa-ff93aef6cca8	完了	vm/vm-000174C053D1A42F0	VMware virtual machines	2022年10月4日, 15:01 (UTC+09:00)	2022年10月4日, 16:01 (UTC+09:00)

コピージョブ 情報

定期的なコピーアクションまたはオンデマンドコピーアクションの記録。

レポートを作成 | 過去 24 時間 ▼

ジョブ ID、ステータス、リソース ID、リソースタイプ、または宛先でコピージョブをフィルタリ:

コピージョブ ID	ステータス	リソース ID	リソースタイプ	作成時間	送信先リージョン	送信先バックアップポールド
877323AD-6DAB-38B8-977E-CC2ACE8640AB	実行中	vm/vm-00016ACCD251DC759	VMware virtual machines	2022年10月4日, 21:01 (UTC+09:00)	アジアパシフィック (大阪)	AWSBackup_VMC_Osaka
50CA5144-1551-4537-4A00-5956C12F5F0C	完了	vm/vm-00016ACCD251DC759	VMware virtual machines	2022年10月4日, 20:15 (UTC+09:00)	アジアパシフィック (大阪)	AWSBackup_VMC_Osaka
75AC2CBB-7457-6499-86AE-5E132888EE2F	完了	vm/vm-000174C053D1A42F0	VMware virtual machines	2022年10月4日, 19:53 (UTC+09:00)	アジアパシフィック (大阪)	AWSBackup_VMC_Osaka
79DFC2D0-7E96-F233-045C-84EF3A667859	完了	vm/vm-000174C053D1A42F0	VMware virtual machines	2022年10月4日, 18:50 (UTC+09:00)	アジアパシフィック (大阪)	AWSBackup_VMC_Osaka

AWS マネジメントコンソールからバックアップやクロスリージョンコピーの状況を確認できる



リストアの実施 (メインサイト @ 東京リージョン)

AWS Backup > バックアップポータル > AWSBackup_VMConAWS_Tokyo > バックアップを復元

バックアップを復元

概要

VM バックアップ ID
4030f291-4afd-4ab6-afc8-3194f7661f77

復元のタイプ

完全な復元
ファイルシステムをルートレベルのフォルダとファイルを含めて完全にリストアします。

ディスクレベルのリストア
仮想マシンディスク (VMDK) をリストアするブート可能ボリュームを選択します。ディスクが接続された状態で新しい VM が作成されます。

復元場所

VMware

ハイパーバイザー
バックアップを復元するハイパーバイザーを選択します。新しい仮想マシンが作成されます。

VMConAWS-Tokyo

仮想マシン名

Restore_LinuxVM_Tokyo

仮想マシン名は 3 ~ 28 文字にする必要があります。有効な文字: A-Z, a-z, 0-9, および: + @ _ % (ハイフン)

パス
リストアした仮想マシンを配置するフォルダを指定します。

/SDDC-Datacenter/vm/Workloads

パスには 4096 文字まで入力できます。フォーマット: /SDDC-Datacenter/vm/folder

コンピュータリソース
VMHost や Cluster など、復元した仮想マシンを配置する場所を指定します。

Cluster-1

コンピュータリソースは最大 80 文字まで使用できます。

データストア
復元した仮想マシンを配置するデータストアを指定します。

WorkloadDatastore

データストアは最大 80 文字まで使用できます。

リストアの実施 (メインサイト @ 東京リージョン)

The screenshot displays the vSphere Client interface for a virtual machine named 'Restore_LinuxVM_Tokyo'. The left-hand navigation pane shows a tree structure with 'Restore_LinuxVM_Tokyo' highlighted in a red box. The main content area is divided into several panels:

- ゲスト OS (Guest OS):** Shows the VM is powered off ('パワーオフ').
- 仮想マシンの詳細 (Virtual Machine Details):** Displays the power state as 'パワーオフ', the guest OS as 'Other 5.x or later Linux (32-bit)', and notes that VMware Tools are not installed.
- 容量と使用量 (Capacity and Usage):** Shows 1 CPU, 256 MB memory, and 2.54 GB storage.
- 仮想マシンのハードウェア (Virtual Machine Hardware):** Lists 1 CPU, 0 GB memory, a 64 MB hard disk, and network adapter details.
- PCI デバイス (PCI Devices):** Indicates that no PCI devices are present.
- 関連オブジェクト (Related Objects):** Lists the cluster, host, network, and storage objects associated with the VM.

リストアの実施 (メインサイト @ 東京リージョン)

AWS Backup > ジョブ

ジョブ

ジョブでは、バックアップ、復元、コピーアクティビティのステータスや他の詳細をモニタリングできます。

バックアップジョブ | **復元ジョブ** | コピージョブ

復元ジョブ 情報 🔄 レポートを作成 過去 24 時間 ▼

バックアップ復元の記録。

🔍 リストアジョブをジョブ ID、ステータス、リソース ID、またはリソースタイプでフィルタリング < 1 ... > ⚙️

復元ジョブ ID	ステータス	リソース ID	リソースタイプ	作成時間	復旧ポイント ID
D2EF4CD8-7DD5-8831-F76E-69A962DD074B	🟢 完了	vm/vm-000173E9CE19516F3	VMware virtual machines	2022年10月4日, 20:14 (UTC+09:00)	4030f291-4afd-4ab6-afc8-3194f7661f77

リストアの実施 (DR サイト @ 大阪リージョン)

AWS Backup > バックアップポータル > AWSBackup_VMC_Osaka > バックアップを復元

バックアップを復元

概要

VM バックアップ ID
1a343534-98f2-475e-8c84-2c1b2a6da76b

復元のタイプ

- 完全な復元
ファイルシステムをルートレベルのフォルダとファイルを含めて完全にリストアします。
- ディスクレベルのリストア
仮想マシンディスク (VMDK) をリストアするブート可能ボリュームを選択します。ディスクが接続された状態で新しい VM が作成されます。

復元の場所

VMware

ハイパーバイザー
バックアップを復元するハイパーバイザーを選択します。新しい仮想マシンが作成されます。

VMConAWS-Osaka

仮想マシン名

Restore_LinuxVM_Osaka

仮想マシン名は 3 ~ 28 文字にする必要があります。有効な文字:A-Z、a-z、0-9、および:+=@_%-{ハイフン}

パス
リストアした仮想マシンを配置するフォルダを指定します。

/SDDC-Datacenter/vm/Workloads

パスには 4096 文字まで入力できます。フォーマット:/SDDC-Datacenter/vm/folder

コンピュータリソース
VMHost や Cluster など、復元した仮想マシンを配置する場所を指定します。

Cluster-1

コンピュータリソースは最大 80 文字まで使用できます。

データストア
復元した仮想マシンを配置するデータストアを指定します。

WorkloadDatastore

データストアは最大 80 文字まで使用できます。

vSphere Client

Restore_LinuxVM_Osaka

問題とアラーム

この仮想マシンにはネットワークが割り当てられていません。

ゲスト OS

電源状態: パワーオフ

ゲスト OS: Other 5.x or later Linux (32-bit)

VMware Tools: 実行されておらず、インストールされていません

DNS 名:

IP アドレス:

暗号化: 暗号化されていません

容量と使用量
最終更新日は 22:43 です

CPU: 1 CPU 割り当て済み

メモリ: 256 MB 割り当て済み

ストレージ: 2.54 GB 割り当て済み

仮想マシンのハードウェア

CPU: 1個の CPU、0 MHz 使用

メモリ: 0 GB、0 GB のアクティブなメモリ

ハード ディスク 1: 64 MB | シン プロビジョニング | WorkloadDatastore

互換性: ESXi 7.0 U1 以降 (仮想マシン バージョン 18)

PCI デバイス

PCI デバイスがありません

関連オブジェクト

クラスター: Cluster-1

ホスト: 172.16.32.4

ストレージ: WorkloadDatastore

AWS Backup > ジョブ

ジョブ

ジョブでは、バックアップ、復元、コピーアクティビティのステータスや他の詳細をモニタリングできます。

バックアップジョブ | **復元ジョブ** | コピージョブ

復元ジョブ

バックアップ復元の記録。

リストアジョブをジョブID、ステータス、リソースID、またはリソースタイプでフィルタリング

復元ジョブ ID	ステータス	リソース ID	リソースタイプ	作成時間	復元ポイント ID
B98FD0D5-45AD-AB1A-F597-233CC2A7438	完了	vm/vm-0006E7CFF63469388	VMware virtual machines	2022年10月5日, 22:16 (UTC+09:00)	1a343534-98f2-475e-8c84-2c1b2a6da76b



アクティビティの確認 (コンプライアンス)

The screenshot displays the AWS Backup console interface. On the left is a navigation sidebar with categories like 'マイアカウント', '外部リソース', and 'Backup Audit Manager'. The main content area shows the 'Backup_Evaluation' page with a breadcrumb trail 'AWS Backup > フレームワーク > Backup_Evaluation'. At the top right of the main area are buttons for 'レポートプランを作成', '編集', and '削除'. The '概要' (Summary) section contains a table with the following data:

フレームワーク名 Backup_Evaluation	作成時間 2022年10月4日, 21:31:40 (UTC+09:00)	フレームワークのステータス 🟢 アクティブ	コンプライアンスのステータス 🟢 準拠
フレームワークの説明 -	リージョン アジアパシフィック (東京)	デプロイのステータス 🟢 完了	コントロール 2
フレームワーク ARN arn:aws:backup:ap-northeast-1:532716345262:framework:Backup_Evaluation-6eca3146-c4c2-45d4-928e-e7dcd3d13cbb			準拠しているコントロール 🟢 2
			準拠していないコントロール 🟢 0

Below the summary is the 'コントロール (2) 情報' (Controls (2) Information) section, which includes a 'すべてのタグ' (All tags) dropdown and a 'すべてのステータス' (All statuses) dropdown. It lists two control items:

- 復旧点の最小保持期間が確立されました** (Recovery point minimum retention period established) - Information icon. Description: 復旧点の保持期間が少なくとも 1 日 であるかどうかを評価します。 (Evaluate if the retention period is at least 1 day).

コントロールステータス 🟢 準拠	準拠していないリソース 🟢 0	コントロールスコープ すべての リソース
---------------------	--------------------	-------------------------
- 復旧点は暗号化されています** (Recovery points are encrypted) - Information icon. Description: 復旧点が暗号化されているかどうかを評価します。 (Evaluate if recovery points are encrypted).

コントロールステータス 🟢 準拠	準拠していないリソース 🟢 0	コントロールスコープ すべての リソース
---------------------	--------------------	-------------------------

設定したコントロール準拠のステータスをリアルタイムで確認できる。
バックアップ、クロスリージョンコピーなど各種アクティビティもレポートとして出力できる。



まとめ



まとめ

- AWS Backup は ネイティブ AWS サービスに加えて、VMware Cloud on AWS をはじめとする VMware 仮想環境にも対応した
- バックアッププランを作成することで、バックアップ運用を容易に一元管理できる
- クロスリージョンコピー機能を活用することで、東京 - 大阪間など地理的に離れたリージョンでも簡易的な災害対策も実現できる

本資料に関するお問い合わせ・ご感想

技術的な内容に関しましては、有料の AWS サポート窓口へお問い合わせください

<https://aws.amazon.com/jp/premiumsupport/>

料金面でのお問い合わせに関しましては、カスタマーサポート窓口へお問い合わせください（マネジメントコンソールへのログインが必要です）

<https://console.aws.amazon.com/support/home#/case/create?issueType=customer-service>

具体的な案件に対する構成相談は、後述する個別相談会をご活用ください



ご感想は Twitter へ！ハッシュタグは以下をご利用ください
#awsblackbelt

その他コンテンツのご紹介

ウェビナーなど、AWS のイベントスケジュールをご参照いただけます

<https://aws.amazon.com/jp/events/>

ハンズオンコンテンツ

<https://aws.amazon.com/jp/aws-jp-introduction/aws-jp-webinar-hands-on/>

AWS 個別相談会

AWS のソリューションアーキテクトと直接会話いただけます

<https://pages.awscloud.com/JAPAN-event-SP-Weekly-Sales-Consulting-Seminar-2021-reg-event.html>



Thank you!